

全国市町村 あやめサミット in鏡石

かがみい 議会だより

No.165
平成29年8月
発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒989-0401 福島県岩瀬郡鏡石町 不路沼345
電話0248(62)2110
印刷 (有)永山印刷

6月17日(土)、18日(日)の2日間、本町を会場に全国13市町村で構成される全国市町村あやめサミット連絡協議会が開催されました。



岩瀬牧場を視察

2日目の18日(日)は、岩瀬牧場を視察しました。岩瀬牧場では、県立岩瀬農業高校の生徒などの努力によって復活した世界最古の量産型トラクターや、リニューアルされた歴史資料館などを視察しました。

目次

- ・第8回6月定例議会 … 2・3ページ
- ・一般質問 …… 4～7ページ
- ・審議の結果 …… 8・9ページ
- ・行政視察研修など …… 10・11ページ
- ・町民の声 …… 12ページ

町民の声

悲惨な交通事故の根絶はみんなの願い

鏡石町交通安全母の会 会長 添田喜美代



鏡石町交通安全母の会
会長 添田喜美代さん

今日の車社会において、交通事故の無い安全で快適な交通環境と明るい住みよい社会を実現することは、私たち住民すべての願いであります。鏡石町では未だに多くの交通事故が発生し、さらには多数死傷の交通事故や高齢者の交通事故が多く発生しているなど憂慮すべき状況が続いております。鏡石町においても昨年は2件の死亡事故が発生しております。また、町内で発生した事故については、

○朝、夕の通退時間帯の国道4号線での交通事故の多発

○交差点における出会い頭や追突事故

○高齢者加害・被害・青年運転者等の痛ましい死亡事故

このような交通事故が発生しており、憂慮すべき現状にあります。

悲惨な交通事故を根絶するためには人と車に優しい安全で快適なまちづくり環境を住民一人ひとりがそれぞれの立場で責任を自覚し交通マナーの守り、正しい交通マナーの実践に努めることが何より大切であります。

母の会としましては、家庭・学校・地域における交通安全の輪を大きく広げ、悲惨な交通事故を根絶し、安全で安心な住みよい社会・まちにしていきたいと思っております。

また、子どもと高齢者を交通事故から守るため、交通安全教室、テント村、高齢者世帯訪問、飲食店訪問等の啓発活動、交通安全マスコットを手作りして、北原稲荷神社で祈願したものを学校や町の行事等に配布を行っています。私たちは鏡石町から悲惨な交通事故がなくなることを願い、活動していきます。



新入生対象のテント村



警察署員と飲食店訪問

前号の町民の声で久来石区内の町道について、路面の凹凸が激しく、雨の日の泥水が跳ね上がる、また、大型車両走行時に激しい振動があるなどの現状を改善してほしい旨の要望が寄せられたため、産業厚生常任委員会では、6月8日(木)所管事務調査で議題として取り上げ、町道久来石線の路面状況を現地調査しました。

これからも、路面改修について要望して参ります。



産業厚生常任委員会視察・久来石区内町道路面状況

「町民の声」にこたえて

編集後記

月日が経つのは早いもので、六月定例議会も終了し、本格的な夏本番を迎えました。地球温暖化の影響で毎年毎年異変の夏を迎えます。温暖化は、地球に異常気象をもたらす千ばつや水害、竜巻など、それに農業や生態系、経済活動等に影響をもたらします。身近な問題としては熱中症対策もあります。

そのような状況の中、米国は世界第二位の温室効果ガス排出国にも拘らずトランプ大統領は地球温暖化対策の「パリ協定」からの離脱を表明しました。離脱の影響はかなりの大きいものがあります。自国の利益ばかり捉われず地球全体の未来を見据えて一考していただきたいと思っております。

発行責任者 渡辺 定己
議長 小林 政次
副議長 木原 秀男
委員 橋本 喜一
委員 古川 文雄
委員 菊地 守弘
委員 長田 洋

まちの駅設置事業繰越報告承認

一般質問は3人が登壇

第8回鏡石町議会定例会は6月5日（月）から9日（金）まで開かれ、平成28年度予算の専決処分や鏡石まちの駅（仮称）「かんかん館」設置事業等繰越報告合わせて26の案件を審議し、議決しました。また、一般質問は6月6日（火）に行われ、3名の議員が登壇。多岐に渡り町政を質しました。

からの補助事業情報提供が遅れたために、年度内に執行されずに繰越されているものもありました。

まちの駅事業も継続

一般会計の繰越事業の主なものとしては、鏡石まちの駅（仮称）「かんかん館」設置事業が挙げられます。この事業は、国の地方創生拠点整備交付金と県の地域創生総合支援事業補助金をあて、1階の事務所、駅待合室、売店の約290㎡を改修、観光案内動画が提供できる設備を導入する計画で、事業費として1億4千9百75万8千円を繰り越すものです。



改修されるコミュニティセンター

案は、定例会開会日の6月5日（月）に提出され、次の内容で原案どおり可決しました。

- 契約の目的
鏡石町立鏡石中学校防球ネット設置工事
- 契約の方法
指名競争入札
- 契約の金額
5千3百67万6千円
- 契約の相手方
高田工業株式会社
須賀川支店
支店長 角田真美

教育委員会委員の任命について同意

現委員の死去に伴い、後任の教育委員会委員としての任命の同意が求められ、中町在住の力丸次雄さんの任命に同



議場にてごあいさついただきました



繰越10件で震災は1件

今定例会では専決処分等14件の報告があり、一般会計及び特別会計合わせて10事業の繰越明許の報告がありました。この中で、東日本大震災関連の繰越事業は、森林整備と放射性物質の拡散防止対策を一体的に実施し、森林の再生をめざす「ふくしま森林再生事業」の1件だけとなり、震災の影が薄くなってきたことがうかがえました。

意見書提出の議員発議2件提出

今定例会には吉田孝司議員による議員発議2件が提出されました。発議は「福島第一原子力発電所事故避難者への支援拡充に関する意見書の提出について」、「福島県内全ての原子力発電所の廃炉を強く求める意見書の提出について」で、これら2件は総務文教常任委員会（菊地洋委員長）に付託し審議しました。6月9日（金）本会議において菊地委員長から委員会審議報告があり、委員会決定のとおり可決しました。可決された意見書については、内閣総理大臣ほか関係大臣に送付いたしました。

請願3件陳情1件 審査、内2件採択

今定例会には請願3件、陳情1件が提出され、各常任委員会に付託され、6月8日（木）に開かれた常任委員会において審議しました。総務文教常任委員会（菊地洋委員長）に付託された案件、請願第3号「東京電力福島第

二原子力発電所の全基廃炉を

求める意見書提出を求める請願」並びに陳情第12号「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める陳情書」

については、委員会で審議の結果、2件とも「採択すべきもの」と決しました。また、産業厚生常任委員会（長田守弘委員長）に付託された案件、請願第4号「県中都市計画の早期見直しを求める意見書の提出に関する請願」並びに請願第5号「水道料金の見直しに関する請願書」については、委員会で審議の結果、2件とも「不採択すべきもの」と決しました。

いたしました。

○意見書案第9号

国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書案

採択した請願第3号「東京電力福島第二原子力発電所の全基廃炉を求める意見書提出を求める請願」に基づき、下記のとおり東京電力へ要望書として送付いたしました。

東京電力福島第二原子力発電所の全基廃炉を強く求める要望書

東京電力福島第一原子力発電所の事故の発生から6年が経過したが、いまだに多くの被災者が避難生活を余儀なくされ、被災者一人ひとりの生活再建は極めて厳しい状況にあり、また、多くの人々が放射線による健康不安を感じながら生活している。生産者及び観光に携わる人々は、風評被害と対峙しながら失われた信頼の回復に向け懸命に奮闘している。国や東京電力は、被災者に対し生活再建の補償を継続して行い、人々の健康、とりわけ子どもたちの健やかな成長を長期にわたって保障することが必要である。

また、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉作業が続けられているが、燃料デブリの取り出しやそこで働く人たちの放射線被ばくなど、重要な課題が残されたまま、前途多難な状況にある。

歴史的な被害を受けた福島県民である私たちは「福島県では原子力発電は将来にわたり行わないこと」を求める。そのためには、東京電力福島第二原子力発電所の再稼働はあり得ない。

よって、国及び東京電力においては、現在存廃が未定となっている東京電力福島第二原子力発電所の全基廃炉を国及び東京電力の責任で早急を実現するよう強く要望する。

平成29年6月9日

東京電力ホールディングス株式会社
代表執行役社長 廣瀬 直己 様

福島県岩瀬郡鏡石町議会 議長 渡 辺 定 己



- 町公園の管理と機能について
ふれあいの森公園の管理と周辺環境整備について
- 行政の課題について
子供の貧困問題と実態について
空家の現状と対応策の考えは
- 婚活事業の取組と内容について
- 農産物・食品に対するブランド化の推進と施策について
- G・A・P（農業生産工程管理）の対策と支援について

畑 幸一議員

福祉こども課長

デフレ経済下での子育て世帯の所得の減少や、ひとり親世帯が増加する中で、給与水準の低い非正規労働者が増えたことで貧困世帯の割合は増えております。



ふれあいの森 コンビネーション遊具

地域ブランドとして確立される市場において様々な面で優位に立つことができます。町は、岩瀬キュウリのように産地として確立された農産物の維持発展のため、様々な助成を継続していくほか、新たな取組についても農業普及所や農協等と調査研究していきたいと思っております。また、鏡石ブランド米「牧場のしずく」についても町の特産品として、有効なものと考え、今後夢みなみ農協、鏡石米づくり部会とも活用について検討してい



鏡石ブランド米「牧場のしずく」

質問
子供の貧困問題と実態はどうなっているか。

産業課長
利用再開の要望を受け、管理棟の新築、人口芝、アスレチック遊具の更新、コンビネーション遊具の新設を行い、平成26年再オープンしました。公園の環境整備につきましては、今年度、福島森林再生事業を活用し、公園全体の間伐、更新伐、下刈、植栽等の森林整備の実施を予定しています。

質問
ふれあいの森公園の管理と周辺の環境整備は、どうなっているか。

総務課長
国勢調査の内容や各行政区の調査では、約百件程度把握しております。今後、空家等対策計画策定も含め、具体的な対策を進めて行きます。

質問
空家の現状と対応策の考えはあるのか。

質問
婚活事業の内容と取組はどうなっているか。

質問
GAP（農業生産工程管理）の対策と支援について聞きたいと考えております。

総務課長
町としては、国県の動向を注視し、普及所、JAなどの関係機関と連携しながら、農業者へGAP制度の周知を図り、さらに、認定取得に向けた取組を推進し、安全安心な農産物の生産に向けた取組みを図っていきたく考えています。

一般質問



一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告します。本会議場での持ち時間は1人40分間で答弁の時間は含みません。一般質問の要旨を掲載しました。（1人1ページ）
なお、今議会の登壇議員は3人でした。

ページ	質問者（登壇順）	質問事項
5	畑 幸一	① 町公園の管理と機能について ② 行政の課題について ③ 婚活事業の取組と内容について ④ 農産物・食品に対するブランド化の推進と施策について ⑤ GAP（農業生産工程管理）の対策と支援について
6	小林 政次	① 重度心身障害者自動車燃料費助成事業について ② 重度心身障害者医療費助成事業制度について ③ 新地方公会計制度について
7	吉田 孝司	① 防災・減災対策について ② 弱者対策について ③ 行政組織について

議会傍聴へおいで下さい

次回の9月定例会は、町の昨年度の決算の審議を行う重要な議会となります。あなたの目や耳で確かめ、町政に参加しませんか。傍聴の手続きは、役場庁舎2階の議会事務局事務室で住所と名前を書くだけで、どなたでも傍聴できます。

三議員が町政を問う



吉田孝司議員

- 防災・減災対策について
- 弱者対策について
- 行政組織について

一般質問

町長 町内には消火栓273か所、防火水槽が91か所、プール4か所ほか、自然水利となるため池が60か所あり、水利数としての基準はおおむね達成しています。市町村境の水利の相互利用についても協議の場をもうけております。

質問 消防水利に関する課題及び対策を問う。

総務課長 親局が1か所、遠隔制御局が1か所、各地域に屋外用の子局が30か所のほか、各家庭に貸し出しする戸別受信機が2,881台設置されており、難聴世帯・地域については、放送が入りにくいとの申し出があった場合、機器の点検修理を行うとともに、設置場所やアンテナの向きを確認し改善を図っております。

福祉こども課長 障がい者対象施設は、グループホームが1か所あり、サービス事業所は4か所、38人の町民が利用しています。現時点での課題は、サービス利用者が増加している中で、希望するサービス事業所が無いこと、また、相談を受ける専門員が不足している事が考えられます。

質問 我が町における障がい者対象とする施設の現状と課題を問う。

福祉こども課長 啓発が重要であると考えており、広報紙やホームページ等を活用して、町民や事業所の皆様への周知を図るばかりでなく、各学校での福祉教育の中に取り上げること、子どもたちの障がい者への理解を深めるができていないと認識しております。

町長 総務課にまちづくり調整グループと産業課には場整備準備室を新たに設置しました。設置目的は、前者は町長の特命事項及び各種政策の調整を担っており、後者は高久田地区のほ場整備事業実施に向けて調査設計業務を実施として行っております。また、住宅除染の終了に伴い原子力災害対策室を廃止しました。

質問 新年度における行政組織改編の内容及びその目的を問う。

総務課長 非課税者及び高齢者に対する各種の減免処置を行っております。課題としては、多くの場合は申請により軽減や減免が受けられませんが、制度を知らないことにより、申請そのものをしないことがありまますので、制度の周知徹底に努めたいと考えております。

総務課長 「職員は、職務上知り得た秘密は漏らしてはならない、その職を退いた後もまた同様とする」と法律で規定されている以上、住民の方の個人情報については強固に守られております。

質問 町職員における守秘義務及び個人情報保護の在り方を問う。

総務課長 町における報酬支給対象者は、教育委員会委員や行政委員長、選挙管理委員会委員などがあり、その委員の職務内容や活動頻度などから算出されたものであり、県内市町村と比較しても妥当であると考えております。



小林政次議員

- 重度心身障がい者への自動車燃料助成事業の内容は
- 重度心身障がい者・医療費助成制度は充実しているのか
- 新地方公会制度導入の目的は

一般質問

福祉こども課長 平成29年4月から重度心身障害者に対し外出の機会と福祉の増進を目的に燃料費の助成を始めました。4月1日現在220名で燃料費として、2ヶ月で千円、年額6千円となっております。

質問 県内で、タクシー券とガソリン助成の両方を実施している市町村と金額はいくらくらいなのか。

福祉こども課長 本事業の周知、PRはどのようなに行っているのか、又、公平に行っているのか。

福祉こども課長 5月中旬に、対象者全員に通知を実施し、6月の広報誌にも掲載するなど全町民にPRを図っております。4月時点では9月末日まで事務を進めてまいります。

質問 医療費助成制度の現物給付化について、平成27年度以降、県への働きかけは前回、誰に対して実施したのか。

福祉こども課長 平成30年度を目前に、全県での重度心身障害者医療の現物給付化に向けて検討していること、県の国民健康保険課の説明であります。

質問 新地方公会計制度の導入の目的と、そのメリット・デメリットはどうか。

総務課長 平成27年1月の総務大臣からの全市町村への要請を受け、この制度を導入しましたが、財務書類の整備・公表する目的としては、①財務書類の作成・公表により透明性を高め、地方公共団体としての説明責任をわかりやすくより適切に果たすことが出来る。②財務書類から得られる情報を有効活用することで財務の効率化・適正化を図ることが出来る。

質問 我が町における低所得者対策の現状及び課題を問う。

総務課長 我が町における低所得者対策の現状及び課題を問う。

質問 各種の行政委員会及び町長の附属・諮問機関としての審議会・協議会・委員会等の委員への報酬のあり方及び妥当性を問う。

総務課長 町における報酬支給対象者は、教育委員会委員や行政委員長、選挙管理委員会委員などがあり、その委員の職務内容や活動頻度などから算出されたものであり、県内市町村と比較しても妥当であると考えております。

質問 作成するあたり業務量、コストが増加することであります。

総務課長 記載対象は、土地・建物・だけでなく、防犯灯や防火水槽、カーブミラー等のその他の工作物、下水道管、各施設に配備されている高価備品（取得価格50万以上）など広範囲に渡ります。これらを対象に各課に照会し予算科目ごとにデータベース化しております。

質問 平成28年度末時点での登録件数は約6,900件（土地約5,000件、道路底地約4,570件、建物・約120件建築設備除く）となっており、平成29年度以降、毎年度同様の照会をしながら、資産の増減を把握し固定資産台帳に反映させる作業を継続していく予定です。



※29年6月定例会議案（報告等含む）26件
 （条例改正2件、補正予算9件、委員同意2件、請願・陳情4件、議員発議2件、その他7件）

議案等番号	議案件名及び概要等	議案等番号	議案件名及び概要等
報告第19号	専決処分した事件の承認について 鏡石町税条例の一部を改正 (配偶者控除改正関連など)	報告第31号	鏡石町公共下水道事業特別会計繰越明 許費繰越計算書について (駅東第1土地区画整理事業区域内 4,400千円繰越の報告)
報告第20号	専決処分した事件の承認について 鏡石町国民健康保険税条例の一部を改正 (国民健康保険税の減額規定の改正)	報告第32号	鏡石町上水道事業会計予算繰越計算書 について (機械生産に不測の日数が要したため 239,020千円を次年度へ繰越すもの)
報告第21号	専決処分した事件の承認について 平成28年度鏡石町一般会計補正予算(第 6号) (3月末の整理予算102,947千円を減額)	議案第135号	教育委員会委員の任命につき同意を求 めることについて (力丸次雄氏の委員任命同意)
報告第22号	専決処分した事件の承認について 平成28年度鏡石町国民健康保険特別会計 補正予算(第5号) (3月末の事業実績により35,555千円を増額)	議案第136号	農業委員会委員の任命につき同意を求 めることについて (菊地栄助氏以下8名の委員任命同意)
報告第23号	専決処分した事件の承認について 平成28年度鏡石町後期高齢者医療特別会 計補正予算(第3号) (3月末の事業実績により3,820千円を減額)	議案第137号	鏡石町立鏡石中学校防球ネット設置工事 請負契約の締結について 契約金額 53,676千円 契約相手 高田工業(株)須賀川支店
報告第24号	専決処分した事件の承認について 平成28年度鏡石町介護保険特別会計補正 予算(第4号) (3月末の事業実績により9,123千円を減額)	議案第138号	平成29年度鏡石町一般会計補正予算 (第1号) 町民プール機械設備改修工事等に 59,347千円の補正増
報告第25号	専決処分した事件の承認について 平成28年度鏡石町鏡石駅東第1土地区画 整理事業特別会計補正予算(第4号) (3月末の整理予算8,776千円を減額)	議案第139号	平成29年度鏡石町国民健康保険特別 会計補正予算(第1号) 国保税条例の改正に伴う57,507千円の 補正減
報告第26号	専決処分した事件の承認について 平成28年度鏡石町公共下水道事業特別会 計補正予算(第4号) (3月末の整理予算32,644千円を減額)	請願第3号	東京電力福島第二原子力発電所の全基 廃炉を求める意見書提出を求める請願
報告第27号	専決処分した事件の承認について 平成28年度鏡石町農業集落排水事業特別 会計補正予算(第3号) (3月末の整理予算4,474千円を減額)	請願第4号	県中都市計画の早期見直しを求める意 見書の提出に関する請願
報告第28号	鏡石町一般会計継続費繰越計算書について (新地方公会計制度導入及び公共施設等総 合管理計画策定事業の547千円繰越報告)	請願第5号	水道料金の見直しに関する請願書
報告第29号	鏡石町一般会計繰越明許費繰越計算書について (6事業の362,074千円繰越報告)	陳情第12号	国の『被災児童生徒就学支援等事業』の 継続と、被災児童生徒の十分な就学支援 を求める意見書の提出を求める陳情書
報告第30号	鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別 会計繰越明許費繰越計算書について (駅東第1土地区画整理事業の24,332千円 繰越の報告)	発議第18号	福島第一原子力発電所事故避難者への 支援拡充に関する意見書の提出につい て
		発議第19号	福島県内全ての原子力発電所の廃炉を 強く求める意見書の提出について
		意見書案 第9号	国の『被災児童生徒就学支援等事業』の 継続と、被災児童生徒の十分な就学支援 を求める意見書(案)

第8回定例会 審議の結果

*「○」賛成 「×」反対 「欠」欠席 「-」渡辺定己議長は採決に加わらない

議案 報告 等	結 果	小林 政次	吉田 孝司	橋本 喜一	古川 文雄	菊地 洋	長田 守弘	畑 幸一	井土 川好高	大河 原正雄	今泉 文克	木原 秀男	渡辺 定己
報告第19号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
報告第20号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
報告第21号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
報告第22号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
報告第23号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
報告第24号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
報告第25号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
報告第26号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
報告第27号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
報告第28号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
報告第29号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
報告第30号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
報告第31号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
報告第32号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
議案第135号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
議案第136号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
議案第137号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
議案第138号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
議案第139号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
請願第3号	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
請願第4号	不採択	×	○	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	-
請願第5号	不採択	×	○	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	-
陳情第12号	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
発議第18号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
発議第19号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
意見書案第9号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-

行政視察研修

○中能登町

- ・人口 18,392人
- ・世帯数 6,597世帯
- ・面積 89.45km²
- ・議員定数 14人

○津幡町

- ・人口 37,739人
- ・世帯数 13,757世帯
- ・面積 110.59km²
- ・議員定数 16人



平成29年度の行政視察研修は7月4日(火)～6日(木)まで石川県中能登町・津幡町の2町にて研修を実施致しました。

今回の研修地は石川県の能登半島の付根あたりに位置し面積は当町の2～3倍を擁する町でありました。

中能登町では初めに道の駅「織姫の里なかの」とで情報発信と防災機能を設備した町自慢の施設を研修、後に庁舎を訪問、この歓迎にはびっくり、ほぼ全職員が起立して我々を迎えてくれました。

何回かの合併により平成17年に現在の中能登町となり人

口約18,400人で金沢から約1時間の場所に位置しています。

平成17年に地域イントラネット基盤整備事業などの国の交付金事業を上手く活用して複数の計画を策定し、ケーブルテレビでの放送網の整備やその後の町ホームページから

議会基本条例の画像配信するシステムを導入するなど、情報発信に努めていました。

議会基本条例については、議会と執行部が「より健全な緊張関係を築く事」を目的として都合7箇所の研修を重ね平成26年3月議会にて可決・施行されています。

中でも、議員ハンドブック(町の概要情報↓人口、財政、各種福祉関係助成制度など及び、議会関連条例規則を掲載)を作成して配布しており、議員にも執行も大変便利なものだと関心しました。



意見交換のあと議場を見学(中能登町)

をしていました。

議会は通年議会制度を取り入れ専決処分の件数が少なくなり1年間の予定がおおむね事前に立てられることとなりメリットが多いようでした。

議会基本条例については平成23年7月に制定され前述している通年議会について重きをおいて実施していました。

また、議会のインターネット中継は平成17年からケーブルテレビにて定例会初日を再放送することから始まり平成27年11月議会からは放送設備をデジタル方式に変更して現在放映しています。

各町が取組んできた議会基本条例はやはり幾つかの町村をしつかり勉強して、制定されておき、わが町議会においてもしつかり議論・検討をし、議員の資質向上を目指すものにしていかなければならないと強く感じました。

今年度の

議会運営委員会所管事務調査報告

～議会の活性化に目を向けて～

議会運営委員会研修

平成29年度議会運営委員会(古川文雄委員長)の研修は6月27日(火)・28日(水)、群馬県の大泉町と埼玉県の伊奈町において実施しました。

今回の視察研修の主なテーマについては議会基本条例の制定についてや、本会の議のインターネット中継・録画配信について視察調査しました。議会基本条例については両町とも、制定までに約3年弱の年月を要しており、その間、町民アン

ケートの実施やパブリックコメントの実施を行うなどして制定に至っていました。

議会中継(インターネット中継や録画配信)については、議会活性化や開かれた議会におのずと反映していると認識しました。その他、会派の導入や政務活動費についても調査研修を行いました。



大泉町議会の議場を見学



伊奈町議会と意見交換

優良町村議会として県表彰を受賞



議場にて今回の受彰を喜び合う

町議会・議員の活動

6月2日開催の福島県町村議会議長会平成29年度定期総会において、地方自治の本旨に基づいて議会運営の改善に努め、郷土の発展と住民福祉を増進した功績が認められ、優良町村議会として表彰を受けました。今後も引き続き開かれた議会運営に努めて参ります。